

外注化絶対反対!

動労水戸

9・14ストライキを打ち抜く!

国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三・一・三
発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史
電話 029・227・6020
FAX 029・227・6291

現場の怒りと一つにスト 打ち抜く

動労水戸は9月14日、10・1外注化を狙うJRに対し絶対反対のストライキを行いました。同日、出向先である水戸鉄道サービス(以下MTS)に対し、労働条件解明の申入れを行いました。ストに際し、勝田車両センターの青年労働者を中心にスト破りを拒否し、勇気ある非協力闘争でストに連帯する闘いが生まれています。闘いの中で多くの仲間が感動し、自分たちの持つ力に確信を持ったことこそが最大の勝利だ!安全を崩壊させ職場の団結をバラバラにする外注化は、俺たちの思いを真っ向から否定するものです。このかけがえない仲間とこれから一緒に生きていくため、鉄道の安全と職場の団結を守るために、さらなる抵抗を会社に叩きつけよう!

闘いはまだ終わってなどいない!

今回のストで分かったことは、「現場労働者が闘いに立ち上が

れば、こんな矛盾だらけの外注化計画など絶対に止められる!」ということだ。労働者は黙って会社の言いなりになる存在ではないし、出向通知が出されても諦める必要はまったくないので。仲間と意思を一つにして行動すれば、会社の計画も破綻に追い込むことができるということです。理不尽な現実を、ただ黙って受け入れるのではなく、行動によって変えることができる力を労働者は持っている!ストと現場での非協力闘争で会社を追い詰めた結果、14日になっても出向の発令を出すことができないという事態になっ



MTSに対する申入れ行動に立つ

たのは紛れもない事実です。一日遅れで通知された出向事前命令は、電話通告や郵送で行われるなどデータ極まりない。その内容は「業務の変更により、就業場所・就業条件、および業務内容が変わることがあります」と明示されている。要は出向に出されれば、今の業務がそのままできるという保証は全くなく、MTSでの業務は何でもやらされるということだ。こんな発令通知で誰が納得できるというのか!

思いを一つに、さらなる闘いを叩きつけよう!

動労水戸は、この外注化計画の責任をあいまいにすることを絶対に許しません。MTSに対して今回行った申入れは、労働組合として外注会社ともことごとく闘い、同時に外注会社の労働者とも団結しようとする戦闘宣言です。JRだろうと外注会社だろうと、真に労働者のために闘うのが労働組合だ。外注会社の労働者も巻き込んだ闘いを作り出せば、外注化計画そのものを無効にすることは必ずできる。

何より、現場からさらなる闘いを会社に叩きつけることが勝利への道です。東労組はこの期に及んでも「事前通知返却」なるパフォーマンスでごまかそうとしている。違法なウソまで流され始めている。青年たちが立ち上がることを心底恐れているのです。労働組合としての権利である争議権でストをやること、その闘いに共感した労働者がスト破りを拒否することの何が悪いのか?

動労総連合の出向差し止め裁判が19日から始まる。さらに、動労水戸は9月中旬に外注化阻止ストライキに再び立ち上がる。仲間を信じて共に闘おう!



JR水戸支社へ抗議のシュプレヒコール